

(活力を創る) - [戦略3] 地域力を高める～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～

(1)現状と課題		(2)概要				(3)施策体系				(4)県民アンケート結果																				
<p>過疎地域等では、人口減少や少子高齢化、地域経済の低迷などにより、コミュニティの維持さえ困難な状況があります。このような中、魅力ある地域資源を生かした交流人口の拡大や、ICT(情報通信技術)の活用による地域課題の解決等が求められています。</p> <p>また、政令指定都市誕生による一極集中への不安解消に向け、新幹線開業効果を県内各地域に波及させるとともに、政令指定都市以外の地域振興を重点化し、頑張る地域への積極的な支援を行うことで、県内各地域の活性化を図っていく必要があります。</p>		<p>九州新幹線の全線開業や政令指定都市誕生の効果を各地域に波及させていくとともに、熊本都市圏への人口や経済の一極集中などの不安を払拭し、県内どの地域にあっても、誇りに満ちた暮らしが送れるよう、政令指定都市以外の地域振興に重点的に取り組みます。</p> <p>また、人口減少や高齢化が急速に進み、コミュニティの維持が難しくなっている中山間地域等について、それぞれの地域の現状やニーズを踏まえ、きめ細やかなサポートを強化するとともに、魅力ある資源などを生かしたコミュニティビジネスや都市との新たな交流を生み出します。</p>				<p>◆新幹線効果を各地域へ広める ～新幹線効果の波及による地域振興～ 【担当部局:企画振興部・商工観光労働部・土木部】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>11</td> <td>1,430,672千円</td> <td>H26</td> <td>10</td> <td>2,770,303千円</td> </tr> </tbody> </table>				H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	11	1,430,672千円	H26	10	2,770,303千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>								
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	11	1,430,672千円	H26	10	2,770,303千円																									
<p>◆都市との新たな交流を生み出す ～地域の魅力ある資源を生かした新たな交流の創造～ 【担当部局:企画振興部・農林水産部】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>8</td> <td>890,084千円</td> <td>H26</td> <td>8</td> <td>1,788,004千円</td> </tr> </tbody> </table>		H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	8	890,084千円	H26	8	1,788,004千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>																
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	8	890,084千円	H26	8	1,788,004千円																									
<p>◆スポーツを振興する ～ロアッソ熊本などを生かしたスポーツによる地域活性化～ 【担当部局:企画振興部・教育庁】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>8</td> <td>71,363千円</td> <td>H26</td> <td>10</td> <td>98,120千円</td> </tr> </tbody> </table>		H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	8	71,363千円	H26	10	98,120千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>																
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	8	71,363千円	H26	10	98,120千円																									
<p>◆地域のチャレンジを応援する ～地域づくりへの挑戦に対する支援～ 【担当部局:総務部・企画振興部・農林水産部】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>7</td> <td>892,128千円</td> <td>H26</td> <td>5</td> <td>707,334千円</td> </tr> </tbody> </table>		H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	7	892,128千円	H26	5	707,334千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>																
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	7	892,128千円	H26	5	707,334千円																									
<p>◆県南を活性化させる ～県南振興、「水俣・芦北地域振興計画」及び「ふるさと五木村づくり計画」の取組み強化～ 【担当部局:企画振興部・商工観光労働部・農林水産部・土木部】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>30</td> <td>6,348,858千円</td> <td>H26</td> <td>33</td> <td>7,235,550千円</td> </tr> </tbody> </table>		H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	30	6,348,858千円	H26	33	7,235,550千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>																
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	30	6,348,858千円	H26	33	7,235,550千円																									
<p>◆地域の生活を支える ～買い物弱者の解消と地域の移動手段の確保～ 【担当部局:企画振興部・商工観光労働部】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>6</td> <td>756,069千円</td> <td>H26</td> <td>6</td> <td>1,141,555千円</td> </tr> </tbody> </table>		H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	6	756,069千円	H26	6	1,141,555千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>																
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	6	756,069千円	H26	6	1,141,555千円																									
<p>◆情報通信技術を活用する ～情報通信技術(ICT)を活用した地域活性化～ 【担当部局:企画振興部】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>1</td> <td>4,224千円</td> <td>H26</td> <td>1</td> <td>8,274千円</td> </tr> </tbody> </table>		H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H25	1	4,224千円	H26	1	8,274千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】</p>																
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																									
H25	1	4,224千円	H26	1	8,274千円																									
<p>★戦略指標〔単位〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>531 (H22)</td> <td>567 <96.1%></td> <td>575 <97.5%></td> <td></td> <td>590 [万人/年(単年)]</td> </tr> <tr> <td>637 (推計値)</td> <td>657 <98.1%></td> <td>698 <104.2%></td> <td></td> <td>670 [万人/年(単年)]</td> </tr> <tr> <td>6,928 (H23)</td> <td>5,855 <84.5%></td> <td>6,227 <89.9%></td> <td></td> <td>前年度の平均入場者数を上回る [人(単年)]</td> </tr> <tr> <td>74 (H23)</td> <td>52 <65.0%></td> <td>69 <86.3%></td> <td></td> <td>80～100 [件/年(単年)]</td> </tr> </tbody> </table>		策定時	H24	H25	H26	目標値	531 (H22)	567 <96.1%>	575 <97.5%>		590 [万人/年(単年)]	637 (推計値)	657 <98.1%>	698 <104.2%>		670 [万人/年(単年)]	6,928 (H23)	5,855 <84.5%>	6,227 <89.9%>		前年度の平均入場者数を上回る [人(単年)]	74 (H23)	52 <65.0%>	69 <86.3%>		80～100 [件/年(単年)]	<p>① 交流拡大による地域振興</p> <p>② 地域の現状やニーズを踏まえた地域振興</p>			
策定時	H24	H25	H26	目標値																										
531 (H22)	567 <96.1%>	575 <97.5%>		590 [万人/年(単年)]																										
637 (推計値)	657 <98.1%>	698 <104.2%>		670 [万人/年(単年)]																										
6,928 (H23)	5,855 <84.5%>	6,227 <89.9%>		前年度の平均入場者数を上回る [人(単年)]																										
74 (H23)	52 <65.0%>	69 <86.3%>		80～100 [件/年(単年)]																										
<p>i 県内の主要な都市農村交流促進施設の年間来訪者数 [万人]</p> <p>分析: ホームページ「ふるさと応援ネット」をリニューアルし、情報収集・発信をタイムリーに行えるようにした結果、交流人口が増加した。</p>																														
<p>ii 新幹線利用者数(新幹線4駅の乗降客数) [万人]</p> <p>分析: 新幹線4駅の乗降客数がいずれも増加し、目標を達成した。</p>																														
<p>iii 【補】 ロアッソ熊本ホームゲーム1試合平均入場者数 [人]</p> <p>分析: 2013シーズンは、「日本一地域に根ざしたクラブ」をめざし、ホームタウン活動を積極的に行ったため(※実施・参加回数が198回と40クラブ中ベスト5に入る実績)、入場者数の増加につながった。</p>																														
<p>iv 【補】 地域づくりチャレンジ推進事業(4分野)の実施件数 [件]</p> <p>分析: H25年度から当該事業の交付決定権等を本庁から広域本部に移管し、より地域のニーズに対応しやすい環境を整備したため、実施件数が伸びた。</p>																														

No.	(5)平成25年度の主な成果	(6)平成26年度の推進方針・推進状況	(7)問題点(隘路)・課題	(8)今後の具体的な方向性
施策17	<ul style="list-style-type: none"> 市町村や地域団体等が行う交流人口の拡大や地域資源の活用取組を52件支援し、各地で広域的な地域づくりの取組が展開 広域や異業種間連携によるおもてなし取組9件に対して助成を行い、各地域のおもてなしの向上を支援 各地域に設置されている地域公共交通に係る会議に参画し、地域の実情に応じた協議を通じてバス路線網再編等が進展 観光列車等をテーマにした「どっちゃんいく?熊本キャンペーン」等を展開 	<ul style="list-style-type: none"> <u>より使いやすく改正した地域づくりチャレンジ推進事業を通じ、交流人口の拡大や広域的取組を引き続き支援</u> 地域におけるおもてなし取組への助成や料理セミナーの開催により、おもてなしの向上への支援を実施 各地域への公共交通ネットワークの充実強化について、市町村や交通事業者と連携した協議・検討を実施 観光列車の利用者数を増大させるため、JR九州等とのタイアップによる観光キャンペーンを展開 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の実行委員会等による活動が県民総参加の取組につながるよう、参画を促進することが必要 観光事業者等のみならず県民総参加でおもてなしの向上に取り組むことが必要 観光や地域振興等の交流人口拡大のための取組と一体となった交通アクセスの整備の推進 観光列車を運行しているJR九州等の交通事業者や沿線地域の理解、協力が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 参画促進に向けた市町村や地域団体への助言、支援制度の周知や積極的な情報交換 創意工夫があり、他地域へのモデルとなるおもてなし事業を対象に助成を実施 地域の実情に応じた交通の維持・確保、利便性向上等のための関係機関との継続的な協議 引き続き、観光列車等をテーマとした各種観光キャンペーンを展開
施策18	<ul style="list-style-type: none"> 小ロット農産物の販路拡大に向けて情報通信事業者とのプロジェクトチームを設置し、物産館を交えたICT活用モデルを検討・協議 主力以外の品目の掘り起こしと、レストラン等実需者を対象とした売り込みにより、名古屋、広島等の新エリアでの流通ルートが拡大 「くまもとジビエフェア」の開催(17店舗)等による認知度向上や、「県イノシシ肉・シカ肉衛生管理ガイドライン」の策定を実施 廃校を活用した農産物加工所の整備及び同検討(計2件)や、市町村等の持続的な都市農村交流への取組(計14団体)を支援 	<ul style="list-style-type: none"> <u>前年度の検討結果に基づいたICT利活用の実証事業を実施し、効果や課題を検証</u> <u>多彩で魅力ある品目について、民間入りでの販路定着に向け、産地及び消費地の関係団体・業者等との取組を継続</u> 県産品「くまもとジビエ」の普及促進を図るため、安定供給や品質向上、消費拡大等の取組を実施 古民家や廃校等の活用、観光や教育等の他分野との連携促進など、ハード・ソフト両面の取組への支援を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの効果的な利活用のため、地域におけるニーズを的確に把握することが必要 消費地のニーズがありながら継続的な取引に繋がっていないため、商工業との連携やマッチングの強化が必要 「ジビエ」の品質や表示、流通方法等に関する供給者と実需者とのミスマッチの解消が必要 新たに芽生えた取組を発展させるための仕組みづくりや、ニーズが高まる農業教育目的の修学旅行への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 関係課や連携事業の実施主体・関係団体との積極的な情報交換により地域のニーズを把握 新たな生産者の開拓や産地見学会を実施し、消費者ニーズとのマッチングを強化 県内外の実需者のニーズに対応した供給を行うための生産・流通体制の整備 複数年の支援を可能とした補助制度の積極活用や、農業教育旅行に対応できる体制の整備
施策19	<ul style="list-style-type: none"> 第68回国民体育大会で優勝が2種目(カヌー、銃剣道)、ハンドボール成年女子など8種目の準優勝を含めて8位入賞が64種目と健闘 県内の総合型地域スポーツクラブが2クラブ設立され、計65クラブに増加 サッカー教室など県民との交流事業等に取り組んだ結果、ロアッソ熊本ホームゲームの平均入場者数が5,855人から6,227人に増加 ロアッソ熊本の経営強化のため、うまかな・よかなスタジアムの施設利用料金の1/2減免、広告使用料の全額免除等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> <u>スポーツ医・科学分野の先進的なトレーニング法を取り入れた練習会や研修により、県内競技者・指導者を育成</u> <u>総合型地域スポーツクラブ未設置の4町村に対して、クラブ設立に向けての支援を実施</u> サッカー教室や観戦バスツアーへの助成等の支援、親子のふれあい事業の実施等を継続 ロアッソ熊本に対するスタジアムの施設利用料金の1/2減免、広告使用料の全額免除等を継続 	<ul style="list-style-type: none"> 国体天皇杯順位は前年度23位から27位と低下傾向にあり、競技者の競技力強化と指導者の指導力向上が必要 指導者やクラブ経営者の人材確保、財源確保などの課題があり、経営面も含め総合的に推進する人材育成が必要 各種支援を通じ、ロアッソ熊本の経営基盤の一層の安定化を進めることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 練習環境の整備や、指導者育成、選手の強化育成を目的とした練習会・指導者講習会の開催 市町村の関係部局と連携し、クラブ支援や地域スポーツ推進リーダー研修会を実施 観客動員数の増加による収入増と経費減につながるロアッソ熊本への支援策の継続と内容検討
施策20	<ul style="list-style-type: none"> 「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」で想定した全6地域で広域連携プロジェクトが実施され、各市町村の協働・連携が進展 広域性、専門性及び効率性向上の観点から地域振興局業務の一部を広域本部に集約し、対応する組織再編、人員配置の見直しを実施 「第33回全国豊かな海づくり大会〜くまもと〜」を開催し、延べ70,011名の参加者等により経済波及効果は約10億1千万円 	<ul style="list-style-type: none"> <u>ビジョンに掲げた「主な取組の方向性」を踏まえた取組を支援するとともに、県境連携の取組を推進</u> <u>広域本部設置の効果や課題を把握し、必要な改善策を講じるほか、集中処理による業務の集約を推進</u> 海づくり大会開催を契機とした水産資源回復のため、マダイ・ヒラメ等の放流や覆砂、藻場造成等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「将来像」の実現に向けた取組の推進に対する市町村の意識喚起と機運醸成 各地域振興局が広域的な連携を進めることが必要。県民サービス等への影響は随時把握し改善 水産資源回復のため、種苗の放流や資源管理型漁業の一層の取組が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の意向等を十分に踏まえた地域PTでの議論の活発化と具体の事業の作り込み 地域振興局の地域密着性と、広域本部の機動性及び専門性を兼ね備えた体制の整備 資源管理型漁業や栽培漁業の推進と覆砂等の漁場造成による水産資源の維持・増大
施策21	<ul style="list-style-type: none"> 八代外港工業団地に初期投資の軽減を図るための貸付制度(事業用定期借地権による貸付制度)を導入 企業等の農業参入を支援した結果、県南地域に7件が参入 「水俣・芦北地域雇用創造協議会」を中心とした経済・産業活性化の取組の結果、目標を上回る269名(H23~H25)の雇用を達成 国の補助事業を活用した水俣・芦北地域への支援により、多目的広場の整備、湯の鶴温泉保健センター・水俣駅駅舎の改修等が進展 観光PRの強化やイベント・バスツアーの実施等により、五木村の観光客数が約162千人と前年の約150千人から8%増加 五木村の間伐等の森林整備や林道・作業道整備等を支援し、木材生産が約22千㎡と前年度の約18千㎡から22%増加 	<ul style="list-style-type: none"> <u>調査結果に基づくターゲット企業への誘致活動及び工業団地貸付制度周知による八代外港工業団地への立地を促進</u> <u>県外立地の県外資本企業の調査・訪問や企業の農業参入促進に向けた情報提供、加工施設整備への支援等の継続</u> 人材育成や起業・業務拡大への支援等の地域産業及び経済活性化に資する取組を継続して一体的に実施 市町実施事業に対する国の補助事業を活用した支援等を継続して実施 観光振興やフードバレー構想を踏まえた農林水産業の振興等による雇用の場の確保や移住・定住を促進 道路改良、水没予定地や白滝公園の整備等の基盤整備事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 県南地域の利点をPRすることで、農業6次産業化をめざす企業等の誘致活動が必要 企業等に対する県南地域での立地の利点のPRや、農業参入企業に対する営農安定化等の支援が必要 産業振興と雇用創造事業を地域が一体となった取組へと繋げていく必要あり 環境負荷を少なくしつつ、経済発展する新しい形の地域づくりの一層の推進 過疎化、高齢化が依然として進んでいるため、移住・定住促進や高齢者の生活支援等の施策の強化が必要 後年度の維持管理費等を考慮した計画的な基盤整備の推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 県南地域がもつポテンシャルを活かし、食品関連産業を中心とした企業を誘致 調査データに基づく企業訪問の強化や相談窓口の充実、研修会開催等による継続支援 「水俣・芦北地域雇用創造協議会」による雇用創造の取組の地元への定着化 地域経済・産業基盤の強化、地域住民の交流の促進、低炭素型観光の推進 アウトドアスポーツの導入等観光産業の振興や林業者の雇用確保による移住・定住の促進 五木村の意向を踏まえつつ、維持管理費及び運営体制等を十分に考慮した事業計画を策定
施策22	<ul style="list-style-type: none"> 商工団体の支援で、小規模事業者が連携し配達サービスの実証実験や買い物支援マップを作成 国との協調支援により、計159.4kmの三セク鉄道の運行や、広域性・幹線性を有する44路線のバスの運行を維持 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物弱者の支援等の社会課題の解決のため、小規模事業者と連携して取り組む商工団体や商店街を支援 三セク鉄道の駅舎改修や車両更新、広域性等を有する路線バスの運行等に対する支援の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続するためには、経営基盤を強化することが必要 老朽化が進んだ施設の計画的な整備を含めた鉄道の維持や、燃料費高騰等の経費増の中でのバス路線の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の社会課題の解決が図られるよう引き続き事業を実施 安全運行のための鉄道施設整備、バス網再編等による財政負担抑制と利便性の両立
施策23	<ul style="list-style-type: none"> 主要な交通拠点や県有施設(13施設26カ所)に無料公衆無線LAN環境を整備し、海外からの来訪者等の利便性が向上 	<ul style="list-style-type: none"> <u>通信事業者及び熊本市との包括連携協定に基づく取組の展開等により、ICT利活用を推進</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化、地域課題解決に向けたICT利活用の推進には、県、市町村、企業、団体等の役割分担と連携が重要 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等との連携を図るために、これまでの取組の成果を県内に広く普及